

## 第27期第8回常任理事会議事録

日時：1993年6月25日 13時30分～16時30分

場所：気象庁内日本気象学会事務局

出席者：浅井，竹内，岩崎，大西，小倉，木田，関口，  
中井，中村，藤谷，松野，村上 以上12名  
(オブザーバー 廣田理事)

### 議事

#### 1. 議事録の確認

第27期第3回理事会……………一部修正のうえ承認。

1993年度総会……………一部修正のうえ承認。

#### 2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義使用許可1件，気象集誌への文部省補助金448万円の交付内定，1994年秋季大会開催地を福岡市九州大学とする件を報告。

リモートセンシング技術センターからの委託研究業務を行う件（TRMM アルゴリズム開発その1，住明正会員が研究総括）を承認。

予算規模は約1700万円，そのうち学会管理費は160万円。

会計…1993年4月，5月の収支決算を報告。通常会員からの会費納入はほぼ完了。1993年春季大会決算を報告。参加費収入566人122万円。運営費支出112万円。

天気…6月号の内容及び7，8月号の予定を報告。一部の委員の交代を了承。

集誌…第71巻第4号の内容を報告

研究ノート…第180号「海と波と海面境界過程」発行。最近号で編集部と印刷業者の間で原稿提出期限を巡ってトラブルがあった。今後はそのようなことのないよう対処したい。従来，著者と業者の間で交渉していた別刷りについて，編集委員会が扱うことにした。

総合計画…先の総会で承認された理事等の選任方法の改正について，富田正夫会員から「天気」に投稿があった。これに関連して，担当理事として理事会の考えを投稿したいとの提案。担当理事から提案された文案については，今回の常任理事会で議論することに決定。

教育と普及…気象談話室のテーマのアイデア提供を，夏季大学準備中。一般公開フォーラム（横浜）の参加呼び掛けピラ完成。一部の委員の交代を承認。

国際学術交流…1994年秋季大会（福岡）のシンポジ

ウムは「熱帯・アジア域豪雨の現状と機構」となる予定。これに関連して，海外からの招聘者2名分の旅費を交流基金で負担可能かとの問い合わせが九州支部からあった。常任理事会として審議した結果，交流基金規定にも抵触しないため，担当委員会で承認されれば問題がないことを確認した。

各賞・奨励金…朝日振興財団，井上科学振興財団から受賞候補の推薦依頼。天気に掲載して募集する。

パソコン通信…5月の着信件数320件。データ蓄積用ハード・ディスク（副）が故障。10万円で買い換える。

#### 3. 会員の新規加入等について

個人44名の入会を承認。個人1名の退会の報告。

#### 4. 1993年度奨励金候補者の推薦について

6月16日に選考委員会を開催。今回から，一般研究調査部門と気象教育部門に分けて募集。前者に5件，後者に4件の9件11名から応募。このなかから選定された5件について推薦理由を担当理事から報告。委員会からの推薦を了承し，全理事の投票にかけることとする。選定規定の「原則3件」と今回の5件の提案の関係について疑問が出され選考基準が「絶対評価」か「相対評価」かについて議論。応募者の数により，年によって基準が変化することを避けつつも，次年度再挑戦が可能であることも考慮して，規定から大きく外れない範囲で運用することで合意。

5. 1993年度山本・正野論文賞候補者の推薦について  
5月17日に選考委員会を開催。6名の候補者のなかから選ばれた2名について推薦理由の説明を担当理事からあり，これを了承，全理事の投票にかけることとする。

#### 6. 気象予報士技能検定制度に関する検討委員会の設置について

総合計画担当の木田理事からの提案に基づいて設置の是非を討議。総合計画担当理事（4名）および教育と普及担当理事（3名）を中心にして全常任理事で構成することにし，会の名称は「気象技能認定制度検討部会」とすることに決定。検討テーマは気象予報士にとどまらず，学会独自の制度も含まれる。第1回の会合は8月3日予定。

7. 1994年春季大会会場について  
 庶務担当理事から次のように説明。竹橋会館が改装工事のため「御茶の水スクエア」を会場とした。この場合、会場費が150万円程度かかる見込み

で、大会会場費を決めた現在の規定の枠をオーバー。ただし、大会経費全体では規定の予算内に納まる見込み。これを受けて討議した結果、原案通り経費支出を了承。



### 平成5年度気象研究所研究発表会の御案内

気象研究所では、研究発表会を以下のとおり開催しますので、関心をお持ちの方は、奮って御来場ください。

1. 日時：平成5年11月26日（金）9：00～17：10
2. 場所：気象研究所講堂（つくば市長峰1-1）
3. プログラム

#### 《午前》

- (1) 東アジア地域における大気汚染質の長距離輸送モデル
- (2) 成層圏循環の変動の対流圏に及ぼす影響
- (3) 中国タクラマカン砂漠における大気-地表面相互作用の研究
- (4) エルニーニョにともなう海洋蓄熱量の変動

- (5) 太平洋西部赤道域における CO<sub>2</sub> の大気/海洋間交換について

#### 《午後》

- (6) 続発性からみた地震活動の確率的予測モデルについて
- (7) 地震活動予測支援システムの開発
- (8) 高過飽和における自然氷晶核の測定
- (9) 衛星による不均質地表面計測のための可視域大気補正アルゴリズム
- (10) 対流雲群の発生・発達に及ぼす島の影響
- (11) メソスケール降水雲の統計的研究

（事務局：気象研究所企画室）

〒305 つくば市長峰1-1 (TEL 0298-51-7111)